

ThorensTD124 の活用(1)

—JBL4350A—

1. 始めに

[ThorensTD124 の導入\(11\)](#)までの結果を受けて、FAL C90EXW 以外のスピーカーについて試聴していきます。また、同時に [Garrad401 の再構成\(15\)](#)の結果を受けて、同時に Garrad401 からの再生も行います。

2. ThorensTD124 の試聴方法

ThorensTD124 の導入(11)までの検討を踏まえて、カートリッジを SPU Synergy、トランスを My Sonic Stage 1030 として、Maranz7 タイププリのフォノ入力とします。Garrad401 の再生は、Garrad401 の再構成(15)と同様、ZANDEN Model120 経由の再生とします。

JBL4350A の駆動系には、TruPhase からチャンネルデバイダーに入力します。



JBL4350A

ThorensTD124 での再生音源は下記とします。

Deutsche Grammophon 483-6927/6928/6929

J.S.Bach Sonatas & Partitas

Nathan Milstein

LONDON KLJC-9180/9184 (RTI/キングレコード)

リヒャルト・ワーグナー：ワルキューレ全曲
ゲオルグ・ショルティ指揮ウィーンフィル

Garrad401での再生音源は下記とします。

ARCHIV(日本ポリドール) 28MA 0020

J.S.Bach チェンバロ協奏曲

トレヴァー・ピノック指揮イングリッシュコンサート

キングレコード SKA-104

愛と自然の歌

倍賞千恵子

2. ThorensTD124 の試聴結果

ThorensTD124 の **Sonatas & Partitas** は、JBL 特有の浸透力のあるヴァイオリンですが、以前のような粗さやきつさは解消しています。

ワルキューレは、やや定位が甘いところがありますが、豪快で押出のよいワーグナーらしい再生ぶりです。

Garrad401 のチェンバロ協奏曲は、切れがよく、通奏低音も明瞭なバロックアンサンブルです。

倍賞千恵子は、切れがよくおおらかなボーカルで、伴奏はよく弾んでいます。

4. まとめ

ThorensTD124 は、プレイヤー、トランス、真空管式のフォノイコなどの効果で、JBL としては、切れ味は良いですが、より聴きやすい音がしています。

Garrad401 は、ZANDEN Model120 の効果で、明晰な音になっています。

以上